

●総合英語Ⅲ (2Th)	1
●総合英語Ⅲ (2Tg)	2
●総合英語Ⅲ (2Tf)	3
●総合英語Ⅲ (2Te)	4
●総合英語Ⅲ (2Td)	5
●総合英語Ⅲ (2M12)	6
●総合英語Ⅲ (2Kc)	7
●総合英語Ⅲ (2Kb)	8
●総合英語Ⅲ (2Ka)	9
●総合英語Ⅲ (2Kd)	10
●総合英語Ⅲ (2M14)	11
●総合英語Ⅲ (2M13)	12
●総合英語Ⅲ (2P19)	13
●総合英語Ⅲ (2Ld)	14
●総合英語Ⅲ (2Lb)	15
●総合英語Ⅲ (2Lf)	16
●総合英語Ⅲ (2Fc)	17
●総合英語Ⅲ (2Fb)	18
●総合英語Ⅲ (2Fa)	19
●総合英語Ⅲ (2Ti)	20
●総合英語Ⅲ (2Tj)	21
●総合英語Ⅲ (2Ta)	22
●総合英語Ⅲ (2Tb)	23
●総合英語Ⅲ (2Tc)	24
●総合英語Ⅲ (2M15)	25
●総合英語Ⅲ (2D16・17)	26
●総合英語Ⅲ (2M11)	27
●総合英語Ⅲ (2P18)	28
●総合英語Ⅲ (2La)	29
●総合英語Ⅲ (2Lc)	30
●総合英語Ⅲ (2Eb)	31
●総合英語Ⅲ (2Ea)	32
●総合英語Ⅲ (2Ee)	33
●総合英語Ⅲ (2Ec)	34
●総合英語Ⅲ (2Ed)	35
●総合英語Ⅲ (2Ef)	36
●総合英語Ⅲ (2Le)	37
●総合英語Ⅲ (2Eg)	38
●総合英語Ⅲ (2Eh)	39

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013005 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Th) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Th	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 月曜日 2時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。 授業方法(学習指導法): CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。 到達目標: 健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。 英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。			
第1回 4月12日 プレ・テスト 導入・授業内容の説明 第2回 4月19日 Unit 1 第3回 4月26日 Unit 2 第4回 5月10日 Unit 3 第5回 5月17日 Unit 4 第6回 5月24日 Unit 5 第7回 6月7日 Unit 6 第8回 6月14日 Unit 7 第9回 6月21日 Unit 8 第10回 6月28日 Unit 9 第11回 7月5日 Unit 10 第12回 7月12日 Unit 11 第13回 7月26日 Unit 12 第14回 7月30日 Unit 13 第15回 8月2日 ポスト・テスト 第16回目 8月9日 定期試験			
キーワード	リーディング / 英字新聞 / 世界の出来事 / 環境 / 健康		
教科書・教材・参考書	Healing Our World 世界の環境と健康ニュースを読む (小笠原真司: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	担当教員の評価分【定期試験90%、授業中の発表や活動10%】・・・定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。この授業の評価は、各教員の評価を80%とし、15回目の共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Thのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります(後期び英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	リーディング・スキルの定着と向上を図る。 総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。		
備考(準備学習等)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013004 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Tg) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Tg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。 授業方法(学習指導法): 受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 到達目標: 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられている Text ですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で習得して行きます。			
第 1 回 4 月 1 2 日 Introduction, 共通 Examination 第 2 回 4 月 1 9 日 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 3 回 4 月 2 6 日 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 4 回 5 月 1 0 日 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 5 回 5 月 1 7 日 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 6 回 5 月 2 4 日 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 7 回 6 月 7 日 Unit 6 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 8 回 6 月 1 4 日 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 9 回 6 月 2 1 日 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 10 回 6 月 2 8 日 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1) 第 11 回 7 月 5 日 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 第 12 回 7 月 1 2 日 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3) 第 13 回 7 月 2 6 日 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856 第 14 回 7 月 3 0 日※(金曜日) Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865 第 15 回 8 月 2 日 Overall reviewing the classes - 共通 Examination 第 16 回 8 月 9 日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) 教材: 英語共通テスト(G-TELP)費用 750 円×2 回分		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 50% 共通テスト 20%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	工学部総合英語 III は、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを 1 回目に実施しますので、かならず 1 回目の授業に出席してください(1 回目は、1 年次と同様に、2Tg のクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2 回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の 2 校時の 5 クラスのどれかになります(後期英語コミュニケーション III は、従来どおりのクラスです)。		

2010年度前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013003 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Tf) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2Tf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 真弓 / nishihara@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / / 月曜日昼休み 非常勤講師室にて			
担当教員	西原 真弓		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語の総合的な力を伸ばしていく。英語で書かれた幅広い内容のものを理解する力(読解力と聴解力)と、自分が表現したいことを英語で的確に表現できる力をつける。 授業方法(学習指導法):テキストをベースに、現在社会問題となっている話題に関して、複数の視点から書かれた内容を理解する(聴解、読解)。 到達目標:毎回の授業で、ひとつのテーマに関して英語で書かれたものを読み、内容を理解する。さらに、そのテーマに関してディスカッションをしている音声教材を使い、両者の言い分を理解する。その上で、そのテーマに関する自分の意見を英語で表現する。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 英語で受信したものを読み取り、または、聞き取るだけでなく、それらを理解した上で自分の意見が持てるようにする。自分の意見を自分の言葉で表現するために必要なスキルを身につけていく。 第1回 What is Your View of English? 第2回 What is Your View of English? 第3回 Stop the Name-Flipping Practice! 第4回 Ugly Japanese, Ugly Americans 第5回 Daughter Fed Up with Tyrant Father 第6回 Don't Leave Engines Idling! 第7回 Agreed to Die 第8回 Don't Buy Cheap, Buy Fair 第9回 We should Educate All Our Children 第10回 Adult-Brats Test Your Nerves 第11回 Poison That Makes You Look Younger 第12回 We should Appreciate the Food Chain 第13回 Is Shorthand Here to Stay? 第14回 Miss Pageants: Misdirected or Misunderstood? 第15回 まとめ 第16回 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	静 哲人 『Ready to Start? 基礎編』 松柏社 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	定期試験 80点 授業外課題 10点 授業内の積極的な参加態度 10点		
受講要件(履修条件)	工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Tfのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります(後期び英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013002 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Te) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2Te	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 香川 実成 / jissei@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107 / 月曜日昼休み			
担当教員	香川 実成		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: スポーツという身近なトピックについて書かれた英文(各種スポーツの起源、現状、興味深いエピソード等)を「読む」・「聴く」作業を通して、基本語彙力をベースとするリーディング能力、及びリスニング能力を身につける。 授業方法(学習指導法): 予習を前提とする演習形式で授業を進める。 到達目標: ①基本語彙については、「音」・「意味」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること一以上を目標とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回・第15回は共通テストにあてる。 第2回～第14回は、教科書各ユニットのパスセージを材料として、そこで用いられている語彙力の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に終えたユニットのリスニング・ディクテーション小テストをおこなう。 授業の進捗状況にもよるが、各回のトピックとなっているスポーツについて、最新英文ニュース記事もエクストラ資料として使用する。 第1回 4月12日 共通テスト 第2回 4月19日 Unit 1: Baseball 第3回 4月26日 Unit 2: Football 第4回 5月10日 Unit 3: Figure Skating 第5回 5月17日 Unit 4: Sumo 第6回 5月24日 Unit 5: Basketball 第7回 6月7日 Unit 6: Rugby 第8回 6月14日 Unit 7: The Marathon 第9回 6月21日 Unit 8: Boxing 第10回 6月28日 Unit 9: Tennis 第11回 7月5日 Unit 10: Volleyball 第12回 7月12日 Unit 11: Judo 第13回 7月26日 Unit 12: Swimming 第14回 7月30日 Unit 13: Golf 第15回 8月2日 共通テスト 第16回目 8月9日 定期試験			
キーワード	スポーツ		
教科書・教材・参考書	Enjoy English through World Sports (『英語で楽しむ世界のスポーツ』) 朝日出版社、2009年。 適宜プリント資料を配付する。 教材: 英語共通テスト (G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50% この授業の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELP の成績を20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Teのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります(後期び英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013001 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Td) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2Td	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。</p> <p>授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。</p> <p>到達目標:テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200語およびテキスト中の Words and Phrases 約 300語の計 500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある Key Sentence として、約 60の構文が書けるようにします。同時に CD を使い、その構文が言えるようにします。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。</p> <p>またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>第 1 回 オリエンテーション 共通テスト (プレースメントテスト) 第 2 回 Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 3 回 Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 4 回 Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 5 回 Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 6 回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 7 回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 8 回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 9 回 Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 10 回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第 11 回 Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 第 12 回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 第 13 回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 第 14 回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 Unit 14. Growth 1861-1865 第 15 回 Unit 14. Growth 1861-1865 ポストテスト 第 16 回 定期試験 (2010年8月9日)</p>			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円(第2回目の授業時に教室にて販売します) 教材: プリント教材 毎回配布します。英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 50%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%、共通テスト 20%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。 ※工学部総合英語 III は、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを 1 回目を実施しますので、かならず 1 回目の授業に出席してください(1 回目は、1 年次と同様に、2 Td のクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2 回目から、習熟度別の授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の 2 校時の 5 クラスのどれかになります(後期び英語コミュニケーション III は、従来どおりのクラスです)。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013006 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2M12) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 香川 実成 / jissei@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107 / 月曜日昼休み			
担当教員	香川 実成		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: DNA という、医学部学生にとっては身近なトピックについて書かれた英文を「読む」・「聴く」作業を通して、基本語彙力をベースとするリーディング能力、及びリスニング能力を身につける。 授業方法(学習指導法): 予習を前提とする演習形式で授業を進める。 到達目標: ①基本語彙については、「音」・「意味」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること一以上を目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回～第15回の毎回、教科書各チャプターのパスセージを材料として、そこで用いられている語彙力の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に終えたユニットのリスニング・ディクテーション小テストをおこなう。 授業の進捗状況にもよるが、各回のトピックに関連する最新英文ニュース記事をエクストラのリーディング資料として配布する。 第1回 4月12日 Chapter 1: What is DNA? 第2回 4月19日 Chapter 2: The Human Story 第3回 4月26日 Chapter 3: Language 第4回 5月10日 Chapter 4: Identical Twins 第5回 5月17日 Chapter 5: Selfish Genes 第6回 5月24日 Chapter 6: GM Food 第7回 6月7日 Chapter 7: GM Humans 第8回 6月14日 Chapter 8: Wrongful Conviction 第9回 6月21日 Chapter 9: Cats and Dogs 第10回 6月28日 Chapter 10: Cows: Holsteins and Ankoles 第11回 7月5日 Chapter 11: Almonds and Acorns 第12回 7月12日 Chapter 12: Predicting Disease 第13回 7月26日 Chapter 13: Inbreeding 第14回 7月30日 Chapter 14: Cloning 第15回 8月2日 Chapter 15: Free Will 第16回目 8月9日 定期試験			
キーワード	DNA, gene, evolutionary psychology		
教科書・教材・参考書	Paul Stapleton, DNA Stories: Understanding how genes affect our world (Cengage Learning, 2009)		
成績評価の方法・基準等	小テスト 30% エクストラ・リーディング活動への参加 10% 定期試験 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013010 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Kc) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2Kc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山崎 有介 / pro-1223@ngs2.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了時			
担当教員	山崎 有介		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: The New York Times から The Japan Times に至る英文による新聞記事を読み、英文読解力を養う。Reading、Listening、Vocabulary の総合的実力向上を目指す。 授業方法(学習指導法): Before you read, Words and Phrases, Summary により、本文を読む前の内容予想をしながら読解力を深める。 到達目標: 無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEIC や英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 各課ごとに事前の Questions/Words and Phrases/Summary/Reading/ Exercises(Multiple Choice・True or False・Vocabulary)の順で行う。 第1回 オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ 第2回 眠っているような田舎町、英語教育の中心に変身 Sleepy Wyoming town morphs into English-teaching hub 第3回 血液型で性格が決まるのか? Blood types - do they shape a personality or are they mere stereotypes? 第4回 若田宇宙飛行士、日本人初の長期滞在へ Wakata to become first Japanese to spend 3 months in space 第5回 大統領一家はアメリカ社会の縮図 A first family that looks like America—Obama-Robinson clan crosses ethnic, religious and linguistic lines 第6回 アラブ女性、空の上で職と自由を得る Arab women find a job, and freedom, at 35,000 feet 第7回 中間としてのまとめ(テストを含む) 第8回 日本の2作品 アカデミー賞受賞 『スラムドッグ』賞を総なめ Two Japanese films bag Oscars Slumdog sweeps awards 第9回 中国司法当局 ネットでの人身攻撃に対し規制強化 China court takes aim at vigilantism on Internet 第10回 2頭のロバを連れて移動図書館 4,800 bokks burros and one striving teacher 第11回 侍ジャパン WBC 連覇 親しき仲にも敵意あり Japan rules baseball world again—Beats S. Korea in 10-inning thriller to retain WBC crown Familiarity breeds respect 第12回 アイスランドで女性先導はじまる Women begin leading the way in Reykjavik 第13回 素人歌手 ネットで大騒ぎ Amateur singer becomes Internet sensation 第14回 ノーベル物理学賞3人同時受賞 日本人 ノーベル賞受賞記念講演 Three Physicists Share Nobel Prize Japan laureates deliver speeches at Nobel Lectures '08 第15回 全体のまとめ 16回目 8月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	The Half-Edition of English through the News Media 2010 (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、中間試験 30%、小試験 10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013009 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Kb) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2Kb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 川島 浩勝 / / 長崎外国語大学 3階 334 研究室 / 095-840-2000 (内線 334) / 授業終了後、質問を受けつける。 また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。			
担当教員	川島 浩勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:「総合英語Ⅲ」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるバランスのとれた情報処理能力を身につける。			
授業方法(学習指導法):様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。			
到達目標:本授業の到達目標は、1) 様々なジャンルの口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解ができるようになる、4) 未知の英文の音読がスラスラできる、である。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回:授業方針の説明・英語力診断テスト			
第2回～第7回:90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 5) B: 語彙力アップ(Level 5) C: 文法レベルにおける複雑な英文の理解 D: 意味レベルにおける複雑な英文の理解			
第8回:授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト (1)			
第9回～第14回:90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 6) F: 語彙力アップ(Level 6) G: ストーリー・リスニング&リーディング (Level 3) H: 未知の英文の音読			
第15回:授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト (2)			
第16回:定期試験 (8月3日)			
第1回 2010.4.13 授業方針の説明・英語力診断テスト			
第2回 2010.4.20 上記の授業内容 (A-D)			
第3回 2010.4.27 上記の授業内容 (A-D)			
第4回 2010.5.11 上記の授業内容 (A-D)			
第5回 2010.5.18 上記の授業内容 (A-D)			
第6回 2010.5.25 上記の授業内容 (A-D)			
第7回 2010.6.1 上記の授業内容 (A-D)			
第8回 2010.6.8 授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト (1)			
第9回 2010.6.15 上記の授業内容 (E-H)			
第10回 2010.6.22 上記の授業内容 (E-H)			
第11回 2010.6.29 上記の授業内容 (E-H)			
第12回 2010.7.6 上記の授業内容 (E-H)			
第13回 2010.7.13 上記の授業内容 (E-H)			
第14回 2010.7.20 上記の授業内容 (E-H)			
第15回 2010.7.27 授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト (2)			
第16回:定期試験 (8月3日)			
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読		
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等	定期考査70%・小テスト10%・レポート20%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013008 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ka) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2ka	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / /095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。</p> <p>授業方法(学習指導法): 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。</p> <p>到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 4月13日 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明</p> <p>第2回 4月20日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第3回 4月27日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第4回 5月11日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)</p> <p>第5回 5月18日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)</p> <p>第6回 5月25日 弱く発音される音、速読(phrase reading)</p> <p>第7回 6月1日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)</p> <p>第8回 6月8日 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)</p> <p>第9回 6月15日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3)</p> <p>第10回 6月22日 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4)</p> <p>第11回 6月29日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading)</p> <p>第12回 7月6日 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading)</p> <p>第13回 7月13日 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6)</p> <p>第14回 7月20日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として)、グループによるディスカッション(2)</p> <p>第15回 7月27日 (予備日に実施) Review</p>			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。まとめテストは、2回実施する。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。 英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013007 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Kd) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Kd	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松田 雅子 / mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 4 F(425-2-3) / 095-819-2740 / 月曜日 16:00-17:00			
担当教員	松田 雅子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語によるコミュニケーションの力をつける。やさしい英語を読み、英語でコメントできるようにする。 授業方法(学習指導法): 読解、リピーティング、シャドウイング、ペアワーク、ビデオ視聴 到達目標: 英語の文章を読んで、まとめ、英語で感想を言えるようになる。 簡単な会話の文型を覚えて、身近なことが説明できるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 1) 基本的な英語の文型を吹き込んだ CD を聞き、声に出して繰り返す。録音し、学習の記録をとる。 2) 英語の文章を早く読む練習をし、流暢に話せるよう訓練する。 3) イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。 4) 自分のこと、身近なことについて、英語で話せるように練習する。 5) 簡単な英語の文章を読んで、英語で内容をまとめ、意見を発表する。 第 1 回 4 月 13 日、オリエンテーション、1-4 課、ペアワーク 第 2 回 復習テスト、5-8、表現練習、ペアワーク、ビデオ視聴 第 3 回 復習テスト、9-12、表現練習、ペアワーク、ビデオ視聴 第 4 回 復習テスト、13-16、表現練習、ペアワーク、ビデオ視聴 第 5 回 復習テスト、17-20、表現練習、ペアワーク、ビデオ視聴 第 6 回 復習テスト、21-24、表現練習、ペアワーク、ロールプレイ 第 7 回 復習テスト、25-28、表現練習、ペアワーク、ロールプレイ 第 8 回 復習テスト、29-32、表現練習、ペアワーク、ロールプレイ 第 9 回 オーラルテスト、表現練習、ペアワーク 第 10 回 復習テスト、33-36、表現練習、ペアワーク、英語教材を読む 第 11 回 復習テスト、37-40、表現練習、ペアワーク、英語教材を読む 第 12 回 復習テスト、41-44、表現練習、ペアワーク、英語教材を読む 第 13 回 復習テスト、45-48、表現練習、ペアワーク、英語教材を読む 第 14 回 復習テスト、49-50、表現練習、ペアワーク、英語教材を読む 第 15 回 まとめ、オーラルテスト 16 回目 定期試験			
キーワード	reading, speaking, repeating, recording, pair work		
教科書・教材・参考書	1)英文のプリント教材 2)英会話練習帳(アルク、2001)(テキストは最初の時間に販売)		
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、口頭試験 30%、課題 20%		
受講要件(履修条件)	毎回授業に必ず出席すること、毎日英語を音読すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語を読んでそれについて話すことができるようになる。 英語の文章を読んで理解し、それについて自分の考えを伝えることができるようになる。コミュニケーションの力をつける。		
備考(準備学習等)	毎日必ず音読し、録音する。		

2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013012 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2M14) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2M14	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山崎 有介 / pro-1223@ngs2.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了時			
担当教員	山崎 有介		
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>ねらい:英語の運用能力向上を目指すことはもちろんであるが、異文化理解教育の1つとして、英語の発祥の地イギリスについて細部に渡り考察する。英語独特の表現法やイギリス文化に触れることにより、より深い英語という言語への理解につながると考えている。</p> <p>授業方法(学習指導法):教材としてDVDを通して、視覚と聴覚の面から英語の表現法を理解してもらえるように指導を行う。</p> <p>到達目標:無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。</p>			
<p>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>毎回Unitを一つずつ進めていくが、時には内容的に2つのUnitを扱う場合も考えられる。各UnitはReading、Exercisesの2つのセクションで構成されているが、Exercisesに関しては取り扱う内容に応じて様々な角度から出題されている。また、DVDによる内容チェックも含まれている。</p> <p>第1回 オリエンテーション：授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ 第2回 Welcome to Britain 第3回 London(1): A Living History 第4回 London(2): Busy Streets, Busy People 第5回 London(3): The Play's the Thing 第6回 In the Heart of England: The Cotswolds 第7回 Manchester: City on the Move 第8回 中間としてのまとめ(テストを含む) 第9回 York and Haworth: Medieval City and Romantic Moors 第10回 The Lake District: Poetic Landscape 第11回 The Roman Frontier: Hadrian's Wall and the Antonine Wall 第12回 Edinburgh: Thens of the North 第13回 Loch Ness: The Scottish Highlands 第14回 Islay and Skye: The Inner Hebrides, South to North 第15回 全体のまとめ 第16回目 8月3日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Passport to Britain (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、中間試験 30%、小試験 10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013011 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2M13) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2M13	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 火曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語の4技能 読む・書く・聞く・話す のうち、読む・聞くに重点を置いた授業を通して、身近で現代的な健康問題を医療に限定せず、社会的、心理的、環境的な広い視野でとらえて理解することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 到達目標: ・ 図表やグラフの読み取りができる。 ・ リスニングでトピックが何であるかキーワードか挙げられる。 ・ 再確認した文法を使って英文を作ることができる。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は、既習文法を再確認したうえで英文を精読する。 授業の後半は、リスニング、既習文法の応用を行う。 第1回 4月13日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 4月20日 Slowing Down in a Fast-food World 第3回 4月27日 Laugh Your Troubles Away 第4回 5月11日 Is It Possible to Be Too Clean? 第5回 5月18日 Sleep: How Much Is Too Much? 第6回 5月25日 Save Your Life and Others' 第7回 6月1日 Alcohol on the Brain 第8回 6月8日 The Dangers of Cannabis 第9回 6月15日 Beauty Is Truly in the Eye of the Beholder 第10回 6月22日 Blood Types and Character : Science or Myth? 第11回 6月29日 Depression and Suicide: A Preventable Tragedy 第12回 7月6日 Think Positive 第13回 7月13日 Relief from Pain 第14回 7月20日 Forever Young? 第15回 7月27日 Do You Have to Remember Everything? 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Quality of Life Making Smart, Healthy Choices 南雲堂 ￥1,785		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013013 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2P19) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 総合英語Ⅲ (2P19)	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 上村 俊彦 / yandi@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5500 / 長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)			
担当教員	上村 俊彦		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 1. Content and Language Integrated Learning (CLIL)の理論に基づいた大学レベルの英文テキストを学習する。2. 英語コミュニケーションの4技能 (reading, listening, Writing, speaking) の向上を目的とした演習を行う。 授業方法(学習指導法): 毎回の授業(クラス活動)を重視します。また、ウェブサイト academicconnectionslab.com 上の学習課題を自律学習していただきます。 到達目標: クラス活動と自律学習(課外でウェブ上学習サイト利用)によって、英語試験(TOEFL レベル)に対応できる英語力の養成をおこなう。大意を取りながら英文テキストを読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 「英語学習」のための英文ではなくて、各学問分野(たとえば「心理学」、「生物学」など)の実際の英文を学びます。この英文テキストは、英語コミュニケーションの4技能をバランスよくトレーニングする構成になっています。 第1回 オリエンテーション (クラス活動と AcademicConnectionLab による自律学習) 第2回 Extensive Reading と多読用英語リーダー 第3回 U.1 Biology A 第4回 U.1 Biology B & U.2 Marketing A 第5回 U.2 Marketing B & U.3 Astronomy A 第6回 U.3 Astronomy B & U.4 Acting A 第7回 U.4 Acting B & Review U.1-U.4 第8回 Mid-term Test & U.5 Psychology A 第9回 U.5 Psychology B & U.6 Sociology A 第10回 U.6 Sociology B & U.7 Literature A 第11回 U.7 Literature B & U.8 Earth Science A 第12回 U.8 Earth Science B & Review Units 7-8 第13回 TOEFL 課題 A 第14回 TOEFL 課題 B 第15回 TOEFL 課題 C			
キーワード	Extensive Reading, Four Skills		
教科書・教材・参考書	Hill (2010) Academic Connections 2 Pearson-Longman		
成績評価の方法・基準等	2回の試験, 提出課題(iPortfolio 使用), 出席状況等を総合的に検討して評価する。 (欠席5回以上は失格) Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment (URL 課題等) 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	毎週のクラス学習と上記 URL での自律学習が必要です。 http://www.MyAcademicConnectionsLab.com		

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013014 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ld) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2Ld	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村岡 三奈子 / muraoka@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 長崎純心大学村岡研究室にて随時			
担当教員	村岡 三奈子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 現代社会が抱える様ざまな問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。 授業方法(学習指導法): 原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。 到達目標: ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 4月15日 インTRODクシヨN 第2回 4月22日 Chapter 1 Blogging Granny 第3回 5月6日 Chapter 2 Urban Rush 第4回 5月13日 Chapter 3 Media Plus Internet "Ads" Up 第5回 5月20日 Chapter 4 Tradition Reduced to Ashes 第6回 5月27日 Chapter 5 Champ Chimp 第7回 6月3日 Chapter 6 I Love Obama 第8回 6月10日 Chapter 7 Cat Lovers, Unite! 第9回 6月17日 Chapter 8 Scam! Scam! Scam! 第10回 6月24日 Chapter 9 Convenience Store Wars 第11回 7月1日 Chapter 10 Practice Makes Perfect! 第12回 7月8日 Chapter 11 Rising from "The Dead" 第13回 7月15日 プレゼンテーション準備 (1) 第14回 7月22日 プレゼンテーション準備 (2) 第15回 7月29日 プレゼンテーション 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Insights 2010 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況: 10% 小テスト: 20% プレゼンテーション: 30% 筆記試験: 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013015 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Lb) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2Lb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 島山 均 / hatakeyama@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて			
担当教員	島山 均		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 映画を素材として作成されたビデオ教材を使い、主として listening、speaking、reading、vocabulary の能力の向上を目的とする。 授業方法(学習指導法): 小テスト、テキストに従い listening、reading、発音、vocabulary 能力向上のために演習。 到達目標: 映画英語が字幕なしで理解できるようにする。合わせて、映画の脚本の一部を自然な英語で発音できるようにする			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。必ず予習をしてくる事。 第1回 4月15日 Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明 第2回 4月22日 Chapter 1 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第3回 5月6日 Chapter 2 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第4回 5月13日 Chapter 3 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第5回 5月20日 Chapter 4 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第6回 5月27日 Chapter 5 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第7回 6月3日 Chapter 6 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第8回 6月10日 Chapter 7 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第9回 6月17日 中間テストの実施と解説 第10回 6月24日 Chapter 8 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第11回 7月1日 Chapter 9 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第12回 7月8日 Chapter 10 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第13回 7月15日 Chapter 11 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第14回 7月22日 重要事項の確認と解説1 第15回 7月29日 重要事項の確認と解説2 期末試験についての説明 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Shine by Jan Sardi, Shohakusha.		
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト— 40% 中間試験————— 20% 期末試験————— 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013016 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Lf) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) 2 L f	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 非常勤講師控室 火曜日 12:00~12:50			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち 読む・書くことに焦点をあてた授業で、新聞記事を読む上で必要な知識(タイトルの付け方・時制等)を学び、時事問題を扱った記事を正確に読むことができるようになる。			
授業方法(学習指導法): 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。			
到達目標: ・再確認した文法を用いて、英作文をつくることができる。 ・新聞記事の見出し語、リードの部分から内容が類推できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は、既習文法を再確認したうえで英文を精読する。 授業の後半は、リスニング、既習文法の応用を行う。			
第1回 4月16日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 4月23日 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure 第3回 4月30日 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第4回 5月7日 Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第5回 5月14日 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第6回 5月21日 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第7回 5月28日 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第8回 6月4日 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第9回 6月11日 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts 第10回 6月18日 Palestinian Rappers Fight Occupation With Music, Not Bombs 第11回 6月25日 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第12回 7月2日 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第13回 7月9日 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best 第14回 7月16日 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 第15回 7月23日 Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holidays 第16回 8月6日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Message to Our Future (金星堂) ¥1,995		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013019 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Fc) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2Fc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Reading, Listening に関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 Listening においては映画を通して、従来の教材では感じる事の出来ないスピードや言い回しを見つけ、Reading は基本的な品詞をもう一度確認しながら、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして基礎力をつけていきます。 授業方法(学習指導法): できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 到達目標: Listening や Reading を重点的に講義の中に取り入れ、日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Main Text の Unit 内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 一本の映画を通して、English Skill をバランスよく練習できる Text です。さらに、アメリカの Pop culture や Subculture を学ぶ事ができ、英語を学ぶことに関心が深まるよう進行して行きます。また、Sub Text として用いる教科書は全体を講義でカバーする事は致しませんが、講義の中でポイントを押さえて行きますので、基本的な品詞をもう一度確認しながら、Phrase Reading を出来る“目”、対応力をつけて行きます。 Phrase Reading、Practical Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で演習します。 第1回 4月16日 Introduction 第2回 4月23日 Unit 1 The Ku Klux Klan, 英語を知ろう 第3回 4月30日 Unit 2 Elvis Presley, 名詞 第4回 5月7日 Unit 3 John F. Kennedy, 修飾語 第5回 5月14日 Unit 4 The Folk Song Movement 第6回 5月21日 Unit 5 The Vietnam War 第7回 5月28日 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD, 時制 第8回 6月4日 Reviewing the classes 第9回 6月11日 Unit 7 Hippies, 時制 第10回 6月18日 Unit 8 John Lennon, 接続詞 第11回 6月25日 Unit 9 Watergate, 関係詞 第12回 7月2日 Unit 10 Apple Computer 第13回 7月9日 Unit 11 Bicentennial Celebrations 第14回 7月16日 Unit 12 AIDS 第15回 7月23日 Overall reviewing the classes - 共通 Examination 第16回 8月6日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Main Text: American History in focus Macmillan Languagehouse Sub Text: Merit(英文法で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング入門) 南雲堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) 教材: 英語共通テスト(G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 50% 共通テスト 20%		
受講要件(履修条件)	※水産学部総合英語Ⅲは、1年次後期総合英語Ⅱと同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(後期英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。 ※原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013018 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Fb) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2Fb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金3			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: このクラスは、現代世界がかかえている環境問題や最新の食品問題を学びながら、英語リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得の充実を図ります。 到達目標: テキストの英語を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 200 語の計 400 語を確実に意味がわかるように修得します。また、テキスト中にある TOEIC 形式の文法問題を解き、構文の基本を修得します。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Scientists Zap Coral Reefs With Electricity to Save Them 第 2 回 Unit 2. Humble' Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3. Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4. Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5. Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6. College Students Feel Better After Screaming Together 第 7 回 Unit 7. Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8. Smoking Bans Could Cut Into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9. Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10. Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11. African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12. Fruity Cocktails May be Good for Health 第 13 回 Unit 13. Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14. Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 共通英語テスト(G-TELP) 総括 16 回 定期試験 (2010年8月6日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Healing Our World (南雲堂) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。 英語共通テスト (G-TELP)費用 750円		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 50%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%、共通テスト(G-TELP)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	※水産学部総合英語 III は、1年次後期総合英語 II と同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(後期英語コミュニケーション III は、従来どおりのクラスです)。 ※全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013017 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Fa) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 2Fa	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 石松 惇 / a-ishima@nagasaki-u.ac.jp / 環東シナ海海洋環境資源研究センター / 095-850-7312 / E-mail により受け付けます			
担当教員	石松 惇		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:総合英語Ⅲは、3クラスを習熟度別に分けて実施されます。このクラスは、その中で科学英語論文を正確に、しかも迅速に読める英語力を身につけることを目的で開講します。基礎的英文法および基本構文の知識はあるとの前提で講義を行いません。</p> <p>授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておく必要があります。授業中に必要に応じて配布する教材は、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、持ち帰って精読してきてもらいます。</p> <p>到達目標:英語力が比較的ある学生を対象に、長文の科学論文を正確に読みとるための基礎力修得を目標に指導します。TOEICとの関係では正確・迅速な読解力を身につけることによってリーディング問題への対応力が身につきます。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>本年度の講義には、“Climate Change 2007: Synthesis Report の Summary for Policymakers” を使います。受講する学生諸君は事前にダウンロードして、テキストとして使えるように準備しておいてください。この資料はいわゆる教科書ではなく、地球温暖化問題について政治家に提言することを目的として書かれたものです。このような資料を正確に読める程度の力を身につけることが、将来国際的舞台で活躍する人材には必要です。音読をすること、自分の考えを英語で書くことなども講義のなかで行いません。文法事項などについては適宜説明します。</p> <p>第1回 4月16日 オリエンテーション、プレテスト 第2回 4月23日 Introduction, Observed changes in climate and their effects 第3回 4月30日 Observed changes in climate and their effects 第4回 5月7日 Causes of change 1 第5回 5月14日 Causes of change 2 第6回 5月21日 Projected climate change and its impacts 1 第7回 5月28日 Projected climate change and its impacts 2 第8回 6月4日 中間試験 第9回 6月11日 Projected climate change and its impacts 3 第10回 6月18日 Projected climate change and its impacts 4 第11回 6月25日 Projected climate change and its impacts 5 第12回 7月2日 Projected climate change and its impacts 6 第13回 7月9日 Adaptation and mitigation options 第14回 7月16日 The long-term perspective 第15回 7月23日 授業のまとめ、ポストテスト 16回 8月6日 定期試験</p>			
キーワード	科学英語、精読、英文法基礎		
教科書・教材・参考書	<p>共通教材: プリテスト・ポストテスト 計 1,500 円 教科書(テキスト) : “Climate Change 2007: Synthesis Report の Summary for Policymakers” http://www.ipcc.ch/pdf/assessment-report/ar4/syr/ar4_syr_spm.pdf でダウンロードできます。</p>		
成績評価の方法・基準等	<p>15回目の講義において3クラス共通で同時に、ポストテストを行います。 3クラスとも、成績評価の20%が、このポストテストの結果で行われます。残りの80%の評価が、各担当教員により行われます。 このクラス2Faの成績評価は、英語基礎テスト20%、【中間テスト20%、定期考査80%(教員担当分)】で行います。</p>		
受講要件(履修条件)	<p>水産学部総合英語Ⅲは、1年次後期総合英語Ⅱと同様に習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、1年次の成績をもとに事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(後期英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです。3クラスを習熟度別に分けて実施されます。自分が受講するクラスを、全学教育事務室の掲示等で確認してください。</p>		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013024 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ti) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 月曜日 2時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。</p> <p>授業方法(学習指導法):CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。</p> <p>到達目標:健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。</p> <p>第1回 10月 4日 プレ・テスト 導入・授業内容の説明 第2回 10月18日 Unit 1 第3回 10月25日 Unit 2 第4回 11月 1日 Unit 3 第5回 11月 8日 Unit 4 第6回 11月15日 Unit 5 第7回 11月22日 Unit 6 第8回 11月29日 Unit 7 第9回 12月 6日 Unit 8 第10回 12月13日 Unit 9 第11回 12月20日 Unit 10 第12回 1月17日 Unit 11 第13回 1月24日 Unit 12 第14回 1月31日 Unit 13 第15回 2月 7日 ポスト・テスト 第16回目 2月14日 定期試験</p>			
キーワード	リーディング / 英字新聞 / 世界の出来事 / 環境 / 健康		
教科書・教材・参考書	Healing Our World 世界の環境と健康ニュースを読む (小笠原真司: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	担当教員の評価分【定期試験 90%、授業中の発表や活動 10%】・・・定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。また、受講中の態度を非常に重視しますので、注意しましょう。 この授業の評価は、各教員の評価を 80%とし、15回目の共通英語学力テスト G-TELP の成績を 20%とし、総合的に行なわれます。		
受講要件(履修条件)	※工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Tiのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります(後期英語コミュニケーションⅢは、従来どおりのクラスです)。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	リーディング・スキルの定着と向上を図る。 総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。		
備考(準備学習等)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013023 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Tj) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Tj	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: Reading, Listening に関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 Listening においては映画を通して、従来の教材では感じる事の出来ないスピードや言い回しを見つけ、Reading は基本的な品詞をもう一度確認しながら、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして基礎力をつけていきます。 授業方法(学習指導法): できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 到達目標: Listening や Reading を重点的に講義の中に取り入れ、日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Main Text の Unit 内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。一本の映画を通して、English Skill をバランスよく練習できる Text です。さらに、アメリカの Pop culture や Subculture を学ぶ事ができ、英語を学ぶことに関心が深まるよう進行して行きます。また、Sub Text として用いる教科書は全体を講義でカバーする事は致しませんが、講義の中でポイントを押さえて行きますので、基本的な品詞をもう一度確認しながら、Phrase Reading を出来る“目”、対応力をつけて行きます。 Phrase Reading、Practical Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で演習します。 第1回 10月4日 Introduction 第2回 10月18日 Unit 1 The Ku Klux Klan, 英語を知ろう 第3回 10月25日 Unit 2 Elvis Presley, 名詞 第4回 11月1日 Unit 3 John F. Kennedy, 修飾語 第5回 11月8日 Unit 4 The Folk Song Movement 第6回 11月15日 Unit 5 The Vietnam War 第7回 11月22日 Unit 6 Vietnam War Veterans and PTSD, 時制 第8回 11月29日 Reviewing the classes 第9回 12月6日 Unit 7 Hippies, 時制 第10回 12月13日 Unit 8 John Lennon, 接続詞 第11回 12月20日 Unit 9 Watergate, 関係詞 第12回 1月17日 Unit 10 Apple Computer 第13回 1月24日 Unit 11 Bicentennial Celebrations 第14回 1月31日 Unit 12 AIDS 第15回 2月7日 Overall reviewing the classes - 共通 Examination 第16回 2月11日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Main Text: American History in focus Macmillan Languagehouse Sub Text: Merit(英文法で学ぶやさしいパラグラフ・リーディング入門) 南雲堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英) 教材: 英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 50% 共通テスト 20%		
受講要件(履修条件)	※工学部総合英語 III は、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Tjのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります。 ※原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013022 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ta) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Ta	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 香川 実成 / jissei@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107 / 月曜日昼休み			
担当教員	香川 実成		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:最新の、あるいは大規模建造物に用いられた各種テクノロジーについて書かれた英文を「読む」・「聴く」作業を通して、基本語彙力をベースとするリーディング能力、及びリスニング能力を身につける。</p> <p>授業方法(学習指導法):予習を前提とする演習形式で授業を進める。</p> <p>到達目標:①基本語彙については、「音」・「意味」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること—以上を目標とする。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回・第15回は共通テストにあてる。</p> <p>第2回～第14回は、教科書各ユニットのパスセージを材料として、そこで用いられている語彙力の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に終えたユニットのリスニング・ディクテーションと、教科書の Follow-up Practice の小テストをおこなう。</p> <p>第1回 10月4日 共通テスト 第2回 10月18日 Unit 1: Micro Air Vehicles 第3回 10月25日 Unit 2: Robot Doctors 第4回 11月1日 Unit 3: Solar Sails 第5回 11月8日 Unit 4: Space Tourism 第6回 11月15日 Unit 5: The Alaska Pipeline 第7回 11月22日 Unit 6: The Three Gorges Dam 第8回 11月29日 Unit 7: The Magnet Fan 第9回 12月6日 Unit 8: The Panama Canal 第10回 12月13日 Unit 9: Scramjets 第11回 12月20日 Unit 10: Rogue Waves 第12回 1月17日 Unit 11: Maglev Trains 第13回 1月24日 Unit 12: Kansai International Airport 第14回 1月31日 Unit 13: The Pill Camera 第15回 2月7日 共通テスト 第16回目 2月14日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Michael Sharpe, Technologies of Today and Tomorrow (Cengage Learning, 2009) 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	<p>共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50%</p> <p>平成22年度後期の総合英語Ⅱの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テスト G-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。</p>		
受講要件(履修条件)	工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Taのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月2 ～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013021 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Tb) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2Tb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50～13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 授業方法(学習指導法): 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 到達目標: 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 10月4日 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り扱うスキルの概要説明 第2回 10月18日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第3回 10月25日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第4回 11月1日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading) 第5回 11月8日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading) 第6回 11月15日 弱く発音される音、速読(phrase reading) 第7回 11月22日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1) 第8回 11月29日 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2) 第9回 12月6日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3) 第10回 12月13日 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4) 第11回 12月20日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading) 第12回 1月17日 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading) 第13回 1月24日 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6) 第14回 1月31日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として)、グループによるディスカッション(2) 第15回 2月7日 Review (習熟度別共通テストを含む)			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト 速読教材としては、各種英字新聞から環境、科学に関わる話題を精選し、教材とする。 教材:英語共通テスト(G-TELP)費用 750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	共通テスト(G-TELP)(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	※工学部総合英語 III は、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Tbのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります。 ※新たに学習する内容は、きちんと復習すること!		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	習熟度別クラスです。		

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013020 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Tc) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2Tc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してこることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。 到達目標: テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約200語およびテキスト中の Words and Phrases 約300語の計500語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある Key Sentence として、約60の構文が書けるようにします。同時にCDを使い、その構文が言えるようにします。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについているCDを使いながら学習してきてください。成績の20%は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭ですらに精読してきてもらいます。今回の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 第1回 オリエンテーション 共通テスト(プレースメントテスト) 第2回 Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第3回 Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第4回 Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第5回 Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第6回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第7回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第8回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第9回 Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第10回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第11回 Unit10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 第12回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 第13回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 第14回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 Unit 14. Growth 1861-1865 第15回 Unit 14. Growth 1861-1865 ポストテスト 第16回 定期試験 (2011年2月14日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材:プリント教材 毎回配布します。英語共通テスト(G-TELP)費用750円×2回分		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト20%、授業中の発表10%、共通テスト20%で行います。		
受講要件(履修条件)	工学部総合英語Ⅲは、習熟度別クラスにて授業を実施します。クラス分けのためのテストを1回目に実施しますので、かならず1回目の授業に出席してください(1回目は、1年次と同様に、2Tcのクラスに出席してください)。テストの後、クラス分けを、掲示にて発表します。2回目から、習熟度別での授業になりますので、それまでは教科書は購入しないでください。時間帯は、月の2校時の5クラスのどれかになります。全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013025 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2M15) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2M15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 真弓 / nishihara@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / / 月曜日昼休み 非常勤講師室にて			
担当教員	西原 真弓		
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>ねらい:学生たちの身近にある社会情勢を扱った内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。</p> <p>授業方法(学習指導法):テキストをベースに、現在社会問題となっている話題に関して、複数の視点から書かれた内容を理解する(聴解、読解)。</p> <p>到達目標:毎回の授業で、ひとつのテーマに関して英語で書かれたものを読み、内容を理解する。さらに、そのテーマに関してディスカッションをしている音声教材を使い、両者の言い分を理解する。その上で、そのテーマに関する自分の意見を英語で表現する。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>第1回 Don't Drink and Die! 第2回 Don't Drink and Die! 第3回 Building Up Her Muscles 第4回 A Costly Dream Comes True 第5回 Katakana: A Threat to Japanese Culture? 第6回 Adults-Brats Test Your Nerves 第7回 Home Schooling Helps Teenager Beat Anorexia 第8回 1,000 Yen for a Pack of Cigarettes 第9回 To Dye or Not to Dye 第10回 Convenience that Kills 第11回 Whaling: Cultural Heritage or Barbarous Practice? 第12回 Whaling: Cultural Heritage or Barbarous Practice? 第13回 Maternal Wedding 第14回 If the World Were a Village of 100 people 第15回 まとめ 16回目 8月9日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	静 哲人 『Ready to Start? 中級編』 松柏社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 80点 授業外課題 10点 授業内の積極的な参加態度 10点		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013026 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2D16・17) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 真弓 / nishihara@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / / 月曜日昼休み 非常勤講師室にて			
担当教員	西原 真弓		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:学生たちの身近にある社会情勢を扱った内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。</p> <p>授業方法(学習指導法):テキストをベースに、現在社会問題となっている話題に関して、複数の視点から書かれた内容を理解する(聴解、読解)。</p> <p>到達目標:毎回の授業で、ひとつのテーマに関して英語で書かれたものを読み、内容を理解する。さらに、そのテーマに関してディスカッションをしている音声教材を使い、両者の言い分を理解する。その上で、そのテーマに関する自分の意見を英語で表現する。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 Don't Drink and Die!</p> <p>第2回 Don't Drink and Die!</p> <p>第3回 Building Up Her Muscles</p> <p>第4回 A Costly Dream Comes True</p> <p>第5回 Katakana: A Threat to Japanese Culture?</p> <p>第6回 Adults-Brats Test Your Nerves</p> <p>第7回 Home Schooling Helps Teenager Beat Anorexia</p> <p>第8回 1,000 Yen for a Pack of Cigarettes</p> <p>第9回 To Dye or Not to Dye</p> <p>第10回 Convenience that Kills</p> <p>第11回 Whaling: Cultural Heritage or Barbarous Practice?</p> <p>第12回 Whaling: Cultural Heritage or Barbarous Practice?</p> <p>第13回 Maternal Wedding</p> <p>第14回 If the World Were a Village of 100 people</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>16回目 2月14日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	静 哲人 『Ready to Start? 中級編』 松柏社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 80点 授業外課題 10点 授業内の積極的な参加態度 10点		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013027 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2M11) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 321	
対象学生(クラス等) 2M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 水曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 専門分野である、体の仕組みについての再確認、また、現在抱えている医療制度の問題、隣接する職種である看護師・薬剤師等の取り組みにも目を向け、必要性が盛んに言われている「チーム医療」について理解を深めることをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 到達目標: ・臓器・検査名・医療器具の英単語が理解できる。 ・病院で頻繁に交わされるあいさつが言える。 ・医療についての英文を読み、自分の意見が述べられる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 全体は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は既習文法を再確認しながら、英文を精読する。 授業の後半は医療現場における対話文の聞き取りをする。 第1回 10月5日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 10月12日 The Human Body 第3回 10月19日 Nutrition and Fitness 第4回 10月26日 Communicable Diseases 第5回 11月2日 Hygiene and Public Health 第6回 11月9日 Reforming Japanese Healthcare 第7回 11月16日 Needlestick Injuries in Medicine 第8回 11月30日 Dr. Kitasato and the Development of Medicine in Japan 第9回 12月7日 The Medical Laboratory Technologist 第10回 12月14日 Clinical Engineering 第11回 12月21日 Radiological Technology 第12回 1月11日 Physical Therapy 第13回 1月18日 Working in Occupational Therapy 第14回 1月25日 Speech-Language Therapy as a Vocation 第15回 2月1日 Orthoptics and Visual Science 第16回 2月8日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	The Hospital Team English for Medical Specialists 南雲堂 ￥1,785		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013029 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2P18) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2P18	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山口 敦子 / / 非常勤講師控室 / 095 (846) 0084 / 授業終了後			
担当教員	山口 敦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 幕末の長崎における医学、薬学、工学の近代化に関するテキストを講読し、英語の読解力を強化する。CDを使用しながら、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。日本の医学、薬学、工学の歴史についての知識を深めながら、各分野の専門用語の習得に努める。 授業方法(学習指導法): 毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。 到達目標: 語彙力、文法力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなせる力に繋げる。幕末の長崎でいかに西洋の医学、薬学、工学の知識や技術が導入され、発展してきたかに関するテキストを読むことで、発展に貢献した先人たちのパイオニア精神を学び、国際的な知識の交流に対する関心を高める。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎回和訳とリスニングを中心に一つのユニットを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。受講生は前もってユニットの予習、CDによるリスニングの練習、内容把握や語彙確認のための付属の問題演習を行い、授業に備えておく。 第1回 イン트로ダクション 幕末の長崎について 第2回 Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1) 第3回 Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2) 第4回 Unit3 日本最初の医学校の創始者ポンペ博士(1) 第5回 Unit4 日本最初の医学校の創始者ポンペ博士(2) 第6回 Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1) 第7回 Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2) 第8回 Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3) 第9回 Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4) 第10回 Unit9 西洋式化学と薬学の導入 第11回 Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1) 第12回 Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2) 第13回 Unit12 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(3) 第14回 Unit13 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係:長崎蒸気工場 1856年 第15回 Unit15 1850年頃の医学の概観 第16回目 2月10日 期末試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『幕末・近代化の先覚者たち—幕末の長崎を英語で読み解く—』(英光社)		
成績評価の方法・基準等	授業中への積極的な取り組み状況 10点 小テスト20点 期末試験 70点		
受講要件(履修条件)	必ず予習をして望むこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013028 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2La) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2La	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 藤内 則光 / fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤控室 / 095-840-2000 (Ext 335) / 外語大 335 研究室にて随時・要確認			
担当教員	藤内 則光		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。 授業方法(学習指導法): CALL 教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。 到達目標: CNN 放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関する NHK BS のニュースを題材にした DVD 教材。第 1 回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属の DVD を見て、事前に予習をすること。 授業の進行が明確に分かっているため、欠席者は次の授業の準備をすること。DVD を見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1 回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。 第 1 回 10/7 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認 第 2 回 10/14 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ 第 3 回 10/21 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 4 回 10/28 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 5 回 11/4 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 6 回 11/11 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 7 回 11/18 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 8 回 11/25 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 9 回 12/2 副教材 Unit 10、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 10 回 12/9 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 11 回 12/16 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 12 回 1/6 副教材 Unit 16、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 13 回 1/13 副教材 Unit 17、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 14 回 1/20 副教材 Unit 19、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 15 回 1/27 副教材 Unit 20、主教材 教科書 1 課 16 回目開講時 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 4(金星堂) 副教材：Culture Listening USA(成美堂)		
成績評価の方法・基準等	全て主教材より 定期試験 80%(単語理解 8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 20% (部分点なし)、内容理解 24%、課題英作文 10% (部分点あり)、英語による意見論述 10%を含む) 平常点 20%(英作文提出と副教材解答結果提出)		
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携帯して授業に臨むこと。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013032 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Lc) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Lc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村岡 三奈子 / muraoka@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 長崎純心大学村岡研究室にて随時			
担当教員	村岡 三奈子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:現代社会が抱える様々な問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。 授業方法(学習指導法):原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。 到達目標:ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 4月15日 インTRODクシヨN 第2回 4月22日 Chapter 1 Blogging Granny 第3回 5月6日 Chapter 2 Urban Rush 第4回 5月13日 Chapter 3 Media Plus Internet "Ads" Up 第5回 5月20日 Chapter 4 Tradition Reduced to Ashes 第6回 5月27日 Chapter 5 Champ Chimp 第7回 6月3日 Chapter 6 I Love Obama 第8回 6月10日 Chapter 7 Cat Lovers, Unite! 第9回 6月17日 Chapter 8 Scam! Scam! Scam! 第10回 6月24日 Chapter 9 Convenience Store Wars 第11回 7月1日 Chapter 10 Practice Makes Perfect! 第12回 7月8日 Chapter 11 Rising from "The Dead" 第13回 7月15日 プレゼンテーション準備(1) 第14回 7月22日 プレゼンテーション準備(2) 第15回 7月29日 プレゼンテーション 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Insights 2010 (KINSEIDO)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況: 10% 小テスト: 20% プレゼンテーション: 30% 筆記試験: 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013031 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Eb) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2Ed	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 島山 均 / hatakeyama@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて			
担当教員	島山 均		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:映画を素材として作成されたビデオ教材を使い、主として listening、speaking、reading、vocabulary の能力の向上を目的とする。 授業方法(学習指導法):小テスト、テキストに従い listening、reading、発音、vocabulary 能力向上のために演習。 到達目標:映画英語が字幕なしで理解できるようにする。合わせて、映画の脚本の一部を自然な英語で発音できるようにする。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。必ず予習をしてくる事。 第1回 10月7日 Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明 第2回 10月14日 Chapter 1 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第3回 10月21日 Chapter 2 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第4回 10月28日 Chapter 3 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第5回 11月4日 Chapter 4 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第6回 11月11日 Chapter 5 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第7回 11月18日 Chapter 6 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第8回 11月25日 中間テスト 第9回 12月2日 Chapter 7 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第10回 12月9日 Chapter 8 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第11回 12月16日 Chapter 9 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第12回 1月6日 Chapter 10 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第13回 1月13日 Chapter 11 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第14回 1月20日 Chapter 12 小テスト、単語確認、映画視聴、内容の確認、聞き取り練習、発音練習、再度映画視聴 第15回 1月27日 重要事項の確認と解説2 期末試験についての説明 第16回 2月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Good Will Hunting, by Matt Damon and Ben Afflect. Shohakusha.		
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト— 40% 中間試験————— 20% 期末試験————— 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013030 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ea) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Ea	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 勝俣 好充 / / 非常勤講師室 / 095-846-0084 (長崎純心大学) / 4限終了後、教室にて。			
担当教員	勝俣 好充		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくに専門研究にむけて英語の文献を使えるようになることをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。</p> <p>授業方法(学習指導法):基本事項を確認した後、テキスト読解を中心に、指名された学生はテキストの当該箇所について発表し、他の学生の質問に答えるというかたちですすめる。</p> <p>到達目標:英語のパラグラフ構造および論旨の展開の仕組みを理解し、スキミングと精読の使い分けによって、一冊の書物から必要な箇所を選びだし、全体の論旨を読みとることができるようになること。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声、文法、論旨の把握にかんする基本事項を確認し、テキスト演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。			
第1回 10月7日、英語を学ぶ目的、方法、考え方 第2回 10月14日、音声の基本事項、母音と子音、強勢とリズム 第3回 10月21日、文法の基本事項(1)品詞、句、節 第4回 10月28日、文法の基本事項(2)主部と述部の構造 第5回 11月4日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造と論旨の展開 第6回 11月11日、論旨の気温事項(2)読む速度と論旨の把握 第7回 11月18日、論旨の基本事項(3)スキミングと精読 第8回 11月25日、テキスト演習(1) 第9回 12月2日、テキスト演習(2) 第10回 12月9日、テキスト演習(3) 第11回 12月16日、テキスト演習(4) 第12回 1月13日、テキスト演習(5) 第13回 1月20日、テキスト演習(6) 第14回 1月27日、テキスト演習(7) 第15回 2月3日、まとめ 第16回、2月10日、定期試験。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Economics for Living, George Soule (NAN' UN-DO) 参考書は随時紹介する。		
成績評価の方法・基準等	提出課題30%、期末試験70%。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013035 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ee) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Ee	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 直義 / ogawa@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5156 / 長崎県立大学シーボルト校研究室 (要予約)			
担当教員	小川 直義		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 異文化理解に不可欠な対人行動に関するテキストを用い、英文をスピーディーにしかも正確に読む力を養成する。同時に、各章にある Cultural Notes により、日本と英語社会との文化の違いについて理解させる。 授業方法(学習指導法): テキストの英文を読ませ内容を理解させる。各章の後にある Exercise を宿題として課す。 到達目標: 異文化理解に不可欠な対人行動について理解させる。また、英文をスピーディーにしかも正確に読む力を養成する。また、毎回英語を聞かせることにより、リスニングの力を向上させる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 10月1日 オリエンテーション(本書の内容説明、授業の進め方) 第2回 10月8日 Introductions (1) 第3回 10月15日 Introductions (2), Exercises 第4回 10月22日 Verbal Patterns (1) 第5回 10月29日 Verbal Patterns (2), Exercises 第6回 11月5日 Nonverbal Communication (1) 第7回 11月12日 Nonverbal Communication (2), Exercises 第8回 11月26日 前半の復習 第9回 12月3日 Personal Relationships (1) 第10回 12月10日 Personal Relationships (2), Exercises 第11回 12月17日 Family Values (1) 第12回 12月24日 Family Values (2), Exercises 第13回 1月7日 Times and Space Patterns (1) 第14回 1月21日 Times and Space Patterns (2), Exercises 第15回 1月28日 後半の復習 第16回 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Beyond Language (金星堂)		
成績評価の方法・基準等	発表 20%、小テスト 20%、期末試験 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013034 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ec) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Ec	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。 授業方法(学習指導法):受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 到達目標:日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられている Text ですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で習得して行きます。 第1回 10月1日 Introduction 第2回 10月8日 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第3回 10月15日 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第4回 10月22日 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第5回 10月29日 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第6回 11月5日 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第7回 11月12日 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第8回 11月19日 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第9回 12月3日 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第10回 12月10日 Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy. 第11回 12月17日 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1) 第12回 12月24日 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 第13回 1月7日 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3) 第14回 1月21日 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan :Steam Factory Nagasaki 1856 第15回 1月28日 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865 第16回 2月4日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 70%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013033 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ed) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2Le	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / 非常勤講師室 / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: This is a comprehensive course designed to improve students' English reading and comprehension skills, increase their vocabulary, enhance their listening ability and boost their TOEIC scores. 授業方法(学習指導法): This course will take up all fifteen (15) units of the textbook which present actual present-day news articles related to relevant health and environmental issues from various countries all over the world. The articles consist of about 200 to 250 words, a 到達目標: By the end of this course, students would be more competent in reading and understanding written English, and would have gained a higher degree of competence in various aspects of the English language.			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) This course covers all fifteen (15) units of the textbook which is supplemented by a CD, to be used for listening practice in class. 第1回 Unit 1: Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第2回 Unit 2: "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第3回 Unit 3: Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第4回 Unit 4: Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第5回 Unit 5: Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第6回 Unit 6: College Students Feel Better after Screaming Together 第7回 Unit 7: Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第8回 Unit 8: Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第9回 Unit 9: Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第10回 Unit 10: Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第11回 Unit 11: African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第12回 Unit 12: Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第13回 Unit 13: Rising Seas May force Island Nations to Evacuate 第14回 Unit 14: Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第15回 Unit 15: Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第16回目 Final Exam			
キーワード	Pre-reading, Reading and Post-reading Exercises		
教科書・教材・参考書	Healing our World - Today's Health and Environment News 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class Participation: 40% Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013038 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Ef) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Ef	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 直義 / ogawa@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5156 / 長崎県立大学シーボルト校研究室 (要予約)			
担当教員	小川 直義		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:国籍も職業も異なる15名の外国人(大部分は英語母語話者)が日本で最も驚いた出来事について書かれたエッセイをテキストを用い、英文をスピーディーにしかも正確に読む力を養成する。 授業方法(学習指導法):テキストの英文を読ませ内容を理解させる。各章の後にある Exercise により内容把握を行う。 到達目標:日本人にとっては当たり前と思えることでも外国じんには驚きとなる異文化について理解させる。また、英文をスピーディーにしかも正確に読む力を養成する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 10月1日 オリエンテーション、Eye-openers in the Station 第2回 10月8日 Private Matters 第3回 10月15日 Sea of Black 第4回 10月22日 Are These Sounds Really Obnoxious or Beautiful? 第5回 10月29日 Affection in an Emotionless Society 第6回 11月5日 Toilet Story 第7回 11月12日 Their World 第8回 11月26日 What Happened? 第9回 12月3日 It's a Small World in Japan 第10回 12月10日 Once a Child, Always a Child? 第11回 12月17日 A Christmas Surprise 第12回 12月24日 Low Divorce Rate in Japan 第13回 1月7日 Maya's Newest Pet 第14回 1月21日 Fine Packaging 第15回 1月28日 Observing Autumn 16回 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Surprises and Discoveries about Japan (朝日出版社)		
成績評価の方法・基準等	発表 20%、小テスト 20%、期末試験 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013037 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Le) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) 2Ed	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / 非常勤講師室 / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: This is a comprehensive course designed to improve students' English reading and comprehension skills, increase their vocabulary, enhance their listening ability and boost their TOEIC scores. 授業方法(学習指導法): This course will take up all fifteen (15) units of the textbook which present actual present-day news articles related to relevant health and environmental issues from various countries all over the world. The articles consist of about 200 to 250 words, a 到達目標: By the end of this course, students would be more competent in reading and understanding written English, and would have gained a higher degree of competence in various aspects of the English language.			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) This course covers all fifteen (15) units of the textbook which is supplemented by a CD, to be used for listening practice in class.			
第 1 回 Unit 1: Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第 2 回 Unit 2: "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3: Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4: Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5: Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6: College Students Feel Better after Screaming Together 第 7 回 Unit 7: Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8: Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9: Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10: Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11: African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12: Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第 13 回 Unit 13: Rising Seas May force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14: Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 Unit 15: Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回目 Final Exam			
キーワード	Pre-reading, Reading and Post-reading Exercises		
教科書・教材・参考書	Healing our World - Today's Health and Environment News 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class Participation: 40% Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013036 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Eg) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2Eg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 石川 昭仁 / ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / メールで要予約 : ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員	石川 昭仁		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: グローバルな話題を取り上げた英文を教材とし、リーディング、リスニングの力を高める。リーディングではパラグラフ・リーディングに習熟する。リスニングでは、シャドーイングによる内容理解、大意把握ができるようにする。 授業方法(学習指導法): 教室でリーディング、リスニング、会話の演習を行うが、教材CDを利用してシャドウイング、リスニング等の授業外の学習が求められる。 到達目標: <ol style="list-style-type: none"> 1 比較的長い時事的な英文の速読と内容把握に習熟する。 2 英語の語彙を増強する。 3 シャドーイングによる英語学習法を身につける。 4 リスニングによる内容に習熟する。 			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 2010/10/1 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Fine Dining in France 第2回 2010/10/8 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Chinese New Year Food- A Celebration of Life 第3回 2010/10/15 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Indian Cooking - As Diverse as India Itself 第4回 2010/10/22 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Ken Watanabe: The "New Samurai" Cutting His Way into the World 第5回 2010/10/29 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 At War in Africa 第6回 2010/11/5 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Anger Takes Hold in the Netherlands 第7回 2010/11/12 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 apanese Automobile Manufacturers Bolster U.S. Economy 第8回 2010/11/26 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 The Plight of Elephants in Thailand 第9回 2010/12/3 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 A Pacemaker for the Stomach? 第10回 2010/12/10 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Godzilla Conquers America 第11回 2010/12/17 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 David Beckham: The REAL Star Forward 第12回 2010/12/24 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Maria Sharapova: The Queen of the Court 第13回 2010/1/13 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Living in the 21st Century: Our Daily Bread 第14回 2010/1/21 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 Domo Domo Paradise: "Train Jungle 第15回 2010/1/28 シャドーイング・語彙・練習問題・会話 What Do You Say? -At an MLB Game 第16回 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Catch the World: 4 : Voyager (Macmillan Language House) 2310円		
成績評価の方法・基準等	期末試験 : 60% 小テスト : 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590013039 授業科目/(英語名)	●総合英語Ⅲ (2Eh) Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Eh	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 高明 / / 非常勤講師控室 / 緊急の場合は全学教育事務室へ / 金曜日昼休み			
担当教員	橋本 高明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。4) 各段落中の topic sentence を同定する。5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。</p> <p>授業方法(学習指導法): 各週の授業では、社会問題や自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落について topic sentence を見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。</p> <p>到達目標: 上記「授業のねらい」の技能(1)~(5)について、担当教員の評価で 60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
15回の授業を行い、16回目の授業校時(2月4日)に期末試験を行う。			
<p>第1回 10月1日 授業の内容・方法の説明、penmanship プリテスト、文法プリテスト</p> <p>第2回 10月8日 Unit 1: Apple Polisher (1)</p> <p>第3回 10月15日 Unit 1: Apple Polisher (2) / Unit 3: “Boomerang” Children (1)</p> <p>第4回 10月22日 Unit 3: “Boomerang” Children (2)</p> <p>第5回 10月29日 Unit 7: Earth Day (1)</p> <p>第6回 11月5日 Unit 7: Earth Day (2) / Unit 8: Yard Sale (1)</p> <p>第7回 11月12日 Unit 8: Yard Sale (2)</p> <p>第8回 11月26日 復習1、中間試験</p> <p>第9回 12月3日 Unit 9: Xerography (1)</p> <p>第10回 12月10日 Unit 9: Xerography (2) / Unit 10: Jobs for College Students (1)</p> <p>第11回 12月17日 Unit 10: Jobs for College Students (2)</p> <p>第12回 12月24日 Unit 17: Dangers of Space Junk (1)</p> <p>第13回 1月7日 Unit 17: Dangers of Space Junk (2) / Unit 19: Computer Viruses (1)</p> <p>第14回 1月21日 Unit 19: Computer Viruses (2)</p> <p>第15回 1月28日 復習2</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Nakahata, Shigeru and Joseph Benson. VOA & Grammar. Tokyo: Nan'un-do, 1991. 参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京: 数研出版, 1990.		
成績評価の方法・基準等	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類(あるいはその複写)を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。		

